

松城健児だより

「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」実施校

村松高校通信 第6号 平成30年10月18日発行

本校 野球部マネージャーがエコスタで活躍しました

ありがとう 夏 100回 これからも

野球部マネージャー 清田向日葵

待ちに待った7月21日準々決勝第一試合は、スタジアム中に響き渡る私の声で幕を開けた。

私が担当したアナウンスは第一試合、新潟高校対新発田高校の試合だった。100回記念大会ということもあり、アナウンスの流れや内容が大きく変わった。新しくなった原稿を初めて読むことの不安と、自分の声で試合を進めていくことの喜びでいっぱいだった。試合が進むにつれ、球場全体が熱気に包まれていった。そして、試合終了のアナウンスで校歌が流れた。楽しくアナウンスをすることができ、達成感で笑顔になれた試合だった。

私がアナウンスを好きになったのは、一年生の冬に行われたマネージャー講習会だった。初めて甲子園球場のウグイス嬢のアナウンスを聞いて鳥肌が立った。私もこんな綺麗な声で選手を後押しできるようなアナウンスがしたいと思った。自分にできることは何か、選手に負けず張り合いが持てることを探している時にアナウンスに出会った。大会で行われるアナウンスは誰もがができることではなく、準々決勝、準決勝、決勝と回を重ねるごとに選ばれた人しかできなくなる。私は、マネージャーとして、そしてアナウンサーに選ばれてエコスタに行くことを目標とした。それは、私以外の多くのマネージャーも持っていた目標だったが、私は、この「エコスタで準々決勝のアナウンスをするという目標」を叶えることができた。

私がアナウンスをしていく上で学んだことは、夢・目標は諦めなければ叶うということ。何度挫折をしても粘り強く挑戦し、前向きに努力する姿勢が重要だと思った。私自身、この経験を通して忍耐力やポジティブな思考を身につけることができた。次はこの二つをどう生かしていくかを目標にして考えていきたいと思う。

上級学校学校見学

8月27日(金)

1学年が、新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部や新潟市内にある専門学校を訪問してきました。これは、本たよりの表題にも付してある「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」による取組の一つです。

訪問先専門学校

- ・新潟柔道整復専門学校・新潟工科専門学校(第1コース)
- ・国際ビューティモード専門学校・新潟医療福祉カレッジ(第2コース)



創立107年の伝統と誇り

新潟県立村松高等学校 校長 渡辺欣彦

〒959-1704 新潟県五泉市村松甲5545

(電話) 0250-58-6003 (FAX) 0250-58-1142

(ホームページ) <http://www.muramatsu-h.nein.ed.jp/>

* 村松高校の取り組みを随時紹介します *